



コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド

HP Business Desktop dx5150モデル

製品番号 : 374172-292

2005年9月

このガイドでは、コンピュータ セットアップの使用方法について説明します。このツールは、新しいハードウェアを取り付けたときにコンピュータのデフォルト設定を再構成および変更する場合や、メンテナンスを行う場合に使用します。

© Copyright 2004, 2005 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

HP製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書には、著作権によって保護された所有権に関する情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、Hewlett-Packard Companyの書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他言語へ翻訳することはできません。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

以下の記号は、本文中で安全上重要な注意事項を示します。



警告：その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。



注意：その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド

HP Business Desktop dx5150モデル

改訂第3版 2005年9月

初版 2005年9月

製品番号：374172-292

日本ヒューレット・パカード株式会社

目次

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ	1
コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティの起動	2
System Information (システム情報)	4
Product Name (製品名)	4
Processor Type (プロセッサ タイプ)	4
Cache Size (キャッシュ サイズ)	4
Memory Size (メモリ サイズ)	4
System ROM (システム ROM)	4
Integrated MAC (内蔵 MAC)	4
UUID	4
System Serial # (システム シリアル番号)	4
Asset Tracking Number (アセット情報追跡番号)	4
Standard CMOS Features (CMOS の標準設定)	4
Date (mm:dd:yy) (日付 (月:日:年))	4
Time (hh:mm:ss) (時刻 (時:分:秒))	4
PATA IDE Channel 0 Master (PATA IDE チャンネル 0 マスタ)	5
PATA IDE Channel 0 Slave (PATA IDE チャンネル 0 スレーブ)	5
SATA IDE Channel 1 Master (SATA IDE チャンネル 1 マスタ)	5
SATA IDE Channel 2 Master (SATA IDE チャンネル 2 マスタ)	5
Drive A (ドライブ A)	5
Halt On (中止条件)	5
POST 遅延時間 (POST Delay)	6
Advanced BIOS Features (BIOS の詳細設定)	6
Removable Device Boot Seq. (リムーバブル デバイスの起動順序)	6
Hard Disk Boot Seq. (ハードディスクの起動順序)	6
CD-ROM Boot Seq. (CD-ROM の起動順序)	6
Network Boot Seq. (ネットワークの起動順序)	7
Quick Power On Self Test (クイック POST)	7
First Boot Device (最初の起動デバイス)	7
Second Boot Device (2 番目の起動デバイス)	7
Third Boot Device (3 番目の起動デバイス)	7
Fourth Boot Device (4 番目の起動デバイス)	7
Boot Up NumLock Status (起動時の NumLock 状態)	7

Security Options (セキュリティ オプション)	7
APIC Function (APIC 機能)	7
MPS Version Control for OS (OS の MPS バージョン制御)	7
HDD S.M.A.R.T. Capability (ハードディスク ドライブの S.M.A.R.T. 機能)	7
ASF Support (ASF サポート)	8
BIOS Write Protection (BIOS の書き込み保護)	8
Advanced Chipset Features (チップセットの詳細設定)	8
PCIB Prefetch	8
GFX Multi Function Mode (GFX マルチ ファンクション モード)	8
UMA Frame Buffer Size (UMA フレーム バッファ サイズ)	8
Video Display Devices (表示装置の選択)	8
Init Display First (初期ディスプレイ)	8
Surroundview (サラウンドビュー)	8
Auto Detect PCI Clk (PCI クロックの自動検出)	8
Spread Spectrum (スペクトラム拡散)	8
Integrated Peripherals (統合周辺機器)	9
South OnChip PCI Device (South OnChip PCI デバイス)	9
OnChip USB Controller (OnChip USB コントローラ)	9
USB Legacy Support (USB レガシー サポート)	9
Front Panel USB Port (フロント パネルの USB ポート)	9
Onboard FDC Controller (オンボード FDC コントローラ)	9
Onboard Serial Port (オンボード シリアル ポート)	9
Onboard Parallel Port (オンボード パラレル ポート)	9
Parallel Port Mode (パラレル ポート モード)	10
ECP Mode Use DMA (ECP モードの使用 DMA)	10
Power Management Setup (電源管理設定)	10
ACPI Function (ACPI 機能)	10
ACPI Suspend Type (ACPI サスペンド タイプ)	10
MODEM Use IRQ (モデム使用 IRQ)	10
After AC Power Loss (AC 電源の切断後)	10
PowerOn by PCI Card (PCI カードでの電源投入)	10
AMD Cool'n'Quiet	10
RTC Alarm Resume (RTC 警告の再開)	10
Date (of Month) (月内の日付)	10
Resume Time (hh:mm:ss) (再開時刻 (時:分:秒))	10
PnP/PCI Configuration (PnP/PCI コンフィギュレーション)	11
Reset Configurations Data (コンフィギュレーション データのリセット)	11
Resources Controlled By (リソースの制御元)	11
IRQ Resources (IRQ リソース)	11
Assign IRQ for VGA (VGA への IRQ 割り当て)	11
Assign IRQ for USB (USB への IRQ 割り当て)	11

PC Health Status (コンピュータの状態)	12
CPU Temperature (CPU の温度)	12
System Temperature (システムの温度)	12
CPU FAN Speed (CPU ファンの速度)	12
System FAN Speed (システム ファンの速度)	12
System FAN Fail Check (システム ファンの障害チェック)	12
FAN Control (ファン制御)	12
Load Optimized Defaults (最適化されたデフォルト設定をロード)	12
Set Supervisor Password (スーパーバイザ パスワードを設定)	12
Set User Password (ユーザ パスワードを設定)	12
Save & Exit Setup (保存してセットアップを終了)	12
Exit Without Saving (保存せずにセットアップを終了)	12
構成の復元	13
CMOSのバックアップ	13
CMOSのリセット	13

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティは、以下のような操作を行う場合に使用します。

- コンピュータの工場出荷時の設定の変更
- コンピュータ (リアルタイム クロック) の日付 (Date) と時刻 (Time) の設定
- システム構成 (プロセッサ、グラフィックス (ビデオ)、メモリ、オーディオ、記憶装置、通信ポート、入力装置など) の表示、設定の変更、または確認
- 起動可能なデバイスの起動順序 (Boot Order) の変更。起動可能なデバイスとして、ハードディスク ドライブ、ディスクレット ドライブ、オプティカル ドライブ、USBフラッシュ メディア デバイスなどがあります。
- クイックPOST (Quick Power-On Self Test) の有効/無効の設定。クイックPOSTでは、コンピュータをすばやく起動できますが、フル ブートで実行される診断テストの一部が省略されます。
- 会社によって割り当てられたアセット タグ (Asset Tag) または資産ID番号の設定
- スーパーバイザ パスワード (Supervisor Password) の設定。スーパーバイザ パスワードは、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ、およびこのガイドで説明する設定にアクセスする場合に使用します。
- シリアル ポート、USBポート、パラレル ポート、オーディオ、内蔵NICなどの内蔵I/O機能の使用禁止/許可の設定
- リムーバブル メディアからの起動 (Removable Media Boot) の有効/無効の設定
- レガシー ディスクレットの書き込み (Legacy Diskette Write) の禁止/許可の設定 (ハードウェアでサポートされている場合)

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティの起動

コンピュータ セットアップは、コンピュータの電源を入れるか再起動することでのみアクセスできます。コンピュータ セットアップ ユーティリティを起動するには、以下の手順で操作します。

1. コンピュータの電源を入れるか、再起動します。Microsoft® Windows®をお使いの場合、[スタート]→[終了オプション] (または[シャットダウン]) →[コンピュータを再起動する] (または[再起動する]) の順に選択します。
2. コンピュータが起動したらすぐに **[F10]** キーを押したままにして、コンピュータ セットアップを実行します。



適切なタイミングで**[F10]** キーを押せなかったときは、コンピュータを再起動して、もう一度**[F10]** キーを押したままにしてください。

3. コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティのメイン画面は、メニュー項目と操作項目に分かれています。

メニュー項目には次の8つがあります。

- System Information (システム情報)
- Standard CMOS Features (CMOSの標準設定)
- Advanced BIOS Features (BIOSの詳細設定)
- Advanced Chipset Features (チップセットの詳細設定)
- Integrated Peripherals (統合周辺機器)
- Power Management Setup (電源管理設定)
- PnP/PCI Configurations (PnP/PCIコンフィギュレーション)
- PC Health Status (コンピュータの状態)

操作項目には次の5つがあります。

- Load Optimized Defaults (最適化されたデフォルト設定をロード)
- Set Supervisor Password (スーパーバイザパスワードを設定)
- Set User Password (ユーザパスワードを設定)
- Save & Exit Setup (保存してセットアップを終了)
- Exit Without Saving (保存せずにセットアップを終了)

矢印キーでメニューを選択して[Enter]キーを押し、上下の矢印キーで項目を選択して[Enter]キーを押します。直前の画面に戻るには、[Esc]キーを押します。


4. 変更した設定を有効にして保存するには、[F10]キーを押すか、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティのメイン画面で[Save & Exit Setup] (保存してセットアップを終了) を選択して[Enter]キーを押します。

変更した設定を破棄したい場合は、[Exit Without Saving] (保存せずにセットアップを終了) を選択して[Enter]キーを押します。



注意: CMOSの損傷を防ぐため、コンピュータセットアップでの変更がROMに保存されている最中に、コンピュータの電源を切らないでください。[F10=Setup]画面の終了後にのみ、安全にコンピュータの電源を切ることができます。

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ

メニュー	項目	説明
System Information (システム情報)	Product Name (製品名)	システムに関する情報を表示します
	Processor Type (プロセッサ タイプ)	
	Cache Size (キャッシュ サイズ)	
	Memory Size (メモリ サイズ)	
	System ROM (システムROM)	
	Integrated MAC (内蔵MAC)	
	UUID	
	System Serial # (システム シリアル番号)	
	Asset Tracking Number (アセット情報追跡番号)	Asset Tag No. (アセット タグ番号) を設定します [Press Enter]ボックスが反転している状態で[Enter]キー を押し、[Enter Asset Tag Strings]と表示されたら適切な アセット タグ番号を入力して[Enter]キーを押します
Standard CMOS Features (CMOSの標準設 定)	Date (mm:dd:yy) (日付 (月:日:年))	システムの日付を設定します
	Time (hh:mm:ss) (時刻 (時:分:秒))	システムの時刻を設定します
	コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる機能は、お使いのハードウェアの構成によっ て異なる場合があります。	

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ (続き)

メニュー	項目	説明
Standard CMOS Features (CMOSの標準設定) (続き)	PATA IDE Channel 0 Master (PATA IDEチャンネル0マスタ)	各項目に対して、次の設定を行います <ul style="list-style-type: none"> IDE HDD Auto-Detection (IDE HDD自動検出) : ハードディスクドライブのサイズおよびヘッドを自動検出します IDE Channel x MasterまたはIDE Channel 0 Slave (IDEの設定) : 次のどれかを選択します <ul style="list-style-type: none"> None (なし) Auto (自動) Manual (手動) Access Mode (アクセスモードの設定) : 次のどれかを選択します <ul style="list-style-type: none"> CHS LBA Large (ラージ) Auto (自動) さらに、SATA IDEドライブに対しては次の設定も行えます <ul style="list-style-type: none"> HDD Self-Test (HDDセルフテスト) : HDDの自己診断を行います <ul style="list-style-type: none"> SMART Status Check (SMARTステータスの確認) HDD Short Self-Test (HDD簡易診断) HDD Extended Self-Test (HDD拡張診断)
	PATA IDE Channel 0 Slave (PATA IDEチャンネル0スレーブ)	
	SATA IDE Channel 1 Master (SATA IDEチャンネル1マスタ)	
	SATA IDE Channel 2 Master (SATA IDEチャンネル2マスタ)	
Drive A (ドライブA)	ドライブA (ディスケットドライブ) を無効 (None) または自動に設定します	
Halt On (中止条件)	電源投入時の中止条件を次の選択肢の中から指定します <ul style="list-style-type: none"> All Errors (すべてのエラー) No Errors (エラーなし) All, But Keyboard (キーボード以外すべて) All, But Diskette (ディスケット以外すべて) All, But Disk/Key (ディスケット/キーボード以外すべて) 	



コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる機能は、お使いのハードウェアの構成によって異なる場合があります。


コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ (続き)


メニュー	項目	説明
Standard CMOS Features (CMOSの標準設定) (続き)	POST遅延時間 (POST Delay)	POSTの遅延時間を次の選択肢の中から指定します <ul style="list-style-type: none"> 0 sec (遅延なし) 5sec (5秒) 10sec (10秒) 15sec (15秒) 30sec (30秒)
Advanced BIOS Features (BIOSの詳細設定)	Removable Device Boot Seq. (リムーバブル デバイスの起動順序)	接続されたデバイス (ディスク ドライブ、LS120 ドライブ、Zip ドライブなど) に起動可能なオペレーティング システムのイメージがあるかどうかをチェックする順序を指定します 順序を変更するには、上下の矢印キーで変更したいデバイスを選択し、リストの上に移動させる場合は[+]キーを、下に移動させる場合は[-]キーを押します。適切な順序に変更し終わったら[Esc]キーを押して前の画面に戻ります
	Hard Disk Boot Seq. (ハードディスクの起動順序)	接続されたハードディスク ドライブ デバイス (USB ハードディスク ドライブ、USB2 メモリ、USB フラッシュ メディアなど) の起動順序を指定します。リストの最初にあるドライブは優先的に起動試行され、C ドライブとして認識されます (他にデバイスが接続されている場合) 順序を変更するには、上下の矢印キーで変更したいデバイスを選択し、リストの上に移動させる場合は[+]キーを、下に移動させる場合は[-]キーを押します。適切な順序に変更し終わったら[Esc]キーを押して前の画面に戻ります
	CD-ROM Boot Seq. (CD-ROMの起動順序)	接続されたCD-ROMドライブ (USBオプティカル ディスク ドライブを含む) に起動可能なオペレーティング システムのイメージがあるかどうかをチェックする順序を指定します 順序を変更するには、上下の矢印キーで変更したいデバイスを選択し、リストの上に移動させる場合は[+]キーを、下に移動させる場合は[-]キーを押します。適切な順序に変更し終わったら[Esc]キーを押して前の画面に戻ります



コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる機能は、お使いのハードウェアの構成によって異なる場合があります。

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ (続き)

メニュー	項目	説明
Advanced BIOS Features (BIOSの詳細設定) (続き)	Network Boot Seq. (ネットワークの起動順序)	ネットワーク デバイス (UP NICカードを含む) に起動可能なオペレーティング システムのイメージがあるかどうかをチェックする順序を指定します 順序を変更するには、上下の矢印キーで変更したいデバイスを選択し、リストの上に移動させる場合は[+]キーを、下に移動させる場合は[-]キーを押します。適切な順序に変更し終わったら[Esc]キーを押して前の画面に戻ります
	Quick Power On Self Test (クイックPOST)	起動時の特定のテストの省略の有効 (Enabled) /無効 (Disabled) を設定します この機能を有効にすると、システムの起動時間が短縮されます
	First Boot Device (最初の起動デバイス)	1、2、3、4番目に起動するデバイスを設定します
	Second Boot Device (2番目の起動デバイス)	 MS-DOS 以外のオペレーティング システムが起動した後は、MS-DOSのドライブ名の割り当てが適用されない場合があります
	Third Boot Device (3番目の起動デバイス)	<ul style="list-style-type: none"> Removable (リムーバブル) Hard Disk (ハードディスク)
	Fourth Boot Device (4番目の起動デバイス)	<ul style="list-style-type: none"> CDROM (CD-ROM) Network (ネットワーク) Disabled (無効)
	Boot Up NumLock Status (起動時のNumLock状態)	NumLockの電源投入時デフォルトでのオン (On) /オフ (Off) を設定します
	Security Options (セキュリティ オプション)	システムの起動時に毎回パスワードの入力を必要とするか、セットアップ ユーティリティを起動する時のみパスワードの入力を必要とするかを設定します <ul style="list-style-type: none"> Setup (セットアップ ユーティリティ起動時のみ) Always (システム起動時およびセットアップ ユーティリティ起動時)
	APIC Function (APIC機能)	APICサポートの有効 (Enabled) /無効 (Disabled) を設定します
	MPS Version Control for OS (OSのMPSバージョン制御)	OSのMPSバージョン (1.1または1.4) を設定します
	HDD S.M.A.R.T. Capability (ハードディスクドライブのS.M.A.R.T.機能)	ハードディスク ドライブのS.M.A.R.T. 機能の有効 (Enabled) /無効 (Disabled) を設定します

 コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる機能は、お使いのハードウェアの構成によって異なる場合があります。

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ (続き)

メニュー	項目	説明
Advanced BIOS Features (BIOSの詳細設定) (続き)	ASF Support (ASFサポート)	ASFサポートの有効 (Enabled) / 無効 (Disabled) を設定します
	BIOS Write Protection (BIOSの書き込み保護)	BIOSのアップグレードの有効/無効を設定します アップグレードを有効にするには、書き込み保護を無効 (Disabled) にします。BIOSのアップグレードができないようにするには、書き込み保護を有効 (Enabled) にします
Advanced Chipset Features (チップセットの詳細設定)	PCIB Prefetch	PCIB prefetchの有効 (Enable) / 無効 (Disable) を設定します。
	GFX Multi Function Mode (GFXマルチ ファンクション モード)	GFXマルチ ファンクション モードの有効 (Enabled) / 無効 (Disabled) を設定します
	UMA Frame Buffer Size (UMAフレーム バッファ サイズ)	オンボード グラフィックUMAフレーム バッファ サイズ (16MB、32M、64MB、128MB、またはAuto (自動)) を設定します。UMAはシステム メモリを共有します
	Video Display Devices (表示装置の選択)	表示装置を選択します <ul style="list-style-type: none"> • Auto (自動) • CRT Only (CRTのみ) • DFP Only (DFPのみ) • CRT Force, DFP Auto (CRTは強制、DFPは自動)
	Init Display First (初期ディスプレイ)	プライマリVGAソースを選択します <ul style="list-style-type: none"> • Onboard (オンボード) • PCIEx (PCI拡張ボード)
	Surroundview (サラウンドビュー)	PCI-E GFXアドオン カードがATIの場合にのみサラウンドビューの有効 (Enabled) / 無効 (Disabled) を設定できます。最大3つの個別のモニタをサポートします (統合ドライバとともに使用可能)
	Auto Detect PCI Clk (PCIクロックの自動検出)	PCI クロックの自動検出の有効 (Enabled) / 無効 (Disabled) を設定します
	Spread Spectrum (スペクトラム拡散)	スペクトラム拡散の有効 (Enabled) / 無効 (Disabled) を設定します



コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる機能は、お使いのハードウェアの構成によって異なる場合があります。

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ (続き)


メニュー	項目	説明
Integrated Peripherals (統合周辺機器)	South OnChip PCI Device (South OnChip PCIデバイス)	次の設定を行います <ul style="list-style-type: none"> OnChip IDE Controller (オンチップIDEコントローラ): IDEコントローラの有効 (Enabled) / 無効 (Disabled) を設定します Onboard AC97 Audio (オンボードAC97オーディオ): オンボードAC97オーディオの有効 (Auto) / 無効 (Disabled) を設定します Onboard Chip SATA (オンボードチップSATA): オンボードSATAの有効/無効を設定し、有効の場合は、IDEまたはRAIDのどちらかのモードを選択します <ul style="list-style-type: none"> SATA Disabled (SATA無効) IDE Controller (IDEコントローラ) RAID Controller (RAIDコントローラ) Onboard LAN (オンボードLAN): オンボードLANの有効 (Enabled) / 無効 (Disabled) を設定します Onboard Lan Boot ROM (オンボードLANからのROMブート): オンチップUSBコントローラのオンボードLANからのROMブートの有効 (Enabled) / 無効 (Disabled) を設定します
	OnChip USB Controller (OnChip USBコントローラ)	USBコントローラの有効 (Enabled) / 無効 (Disabled) を設定します
	USB Legacy Support (USBレガシー サポート)	低速のUSB接続のサポートの有効 (Enabled) / 無効 (Disabled) を設定します
	Front Panel USB Port (フロント パネルのUSBポート)	フロント パネルのUSBポートの有効 (Enabled) / 無効 (Disabled) を設定します
	Onboard FDC Controller (オンボードFDCコントローラ)	オンボードのFDCコントローラの有効 (Enabled) / 無効 (Disabled) を設定します
	Onboard Serial Port (オンボード シリアル ポート)	オンボードのシリアル ポートを無効 (Disabled) にするか設定 (3F8/IRQ4、2F8/IRQ3、3E8/IRQ4、または2E8/IRQ3) を選択します
	Onboard Parallel Port (オンボード パラレル ポート)	オンボードのパラレル ポートを無効 (Disabled) にするか設定 (378/IRQ7、278/IRQ5、または3BC/IRQ7) を選択します



コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる機能は、お使いのハードウェアの構成によって異なる場合があります。

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ (続き)

メニュー	項目	説明
Integrated Peripherals (統合周辺機器) (続き)	Parallel Port Mode (パラレル ポート モード)	パラレル ポート モードを選択します <ul style="list-style-type: none"> • Standard (標準) • SPP • EPP1.7 • EPP1.9 • ECP • ECP+EPP
	ECP Mode Use DMA (ECPモードの使用DMA)	パラレル ポート モードがECPまたはECP+EPPの場合、ECPモードの使用DMAを1または3に設定します
Power Management Setup (電源管理設定)	ACPI Function (ACPI機能)	ACPI機能の有効 (Enabled) /無効 (Disabled) を設定します
	ACPI Suspend Type (ACPIサスペンド タイプ)	ACPIサスペンド タイプを設定します <ul style="list-style-type: none"> • S1 (POS) • S3 (STR) • S1&S3
	MODEM Use IRQ (モデム使用IRQ)	モデムで使用するIRQを設定します。[NA]を選択すると、外部モデムからのウェークアップ機能が無効になります
	After AC Power Loss (AC電源の切断後)	AC電源の供給が絶たれた後、再び電源が供給された時の動作を、次の選択肢から選択します <ul style="list-style-type: none"> • On (オン) • Off (オフ) • Last State (電源供給が絶たれた時の状態)
	PowerOn by PCI Card (PCIカードでの電源投入)	PCIカードでの電源投入機能の有効 (Enabled) /無効 (Disabled) を設定します
	AMD Cool'n'Quiet	AMD Cool'n'Quiet 機能を自動 (Auto) または無効 (Disable) に設定します
	RTC Alarm Resume (RTC警告の再開)	RTC警告の再開の有効 (Enabled) /無効 (Disabled) を設定します
	Date (of Month) (月内の日付)	RTC警告の再開が有効の場合に、再開する月内の日付を選択します。[0]に設定した場合は、毎日再開するという意味になります
Resume Time (hh:mm:ss) (再開時刻 (時:分:秒))	RTC警告の再開が有効の場合に、再開する時刻を選択します	

 コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる機能は、お使いのハードウェアの構成によって異なる場合があります。


コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ (続き)

メニュー	項目	説明
PnP/PCI Configuration (PnP/PCIコンフィギュレーション)	Reset Configurations Data (コンフィギュレーション データのリセット)	自動再コンフィギュレーションの有効 (Enabled) / 無効 (Disabled) を設定します デフォルトでは無効に設定されています。新しいアドオンのインストールおよびシステムの再コンフィギュレーションにより競合が発生し、OSを起動できなくなってしまう場合は、コンピュータ セットアップの終了時にESCD (Extended System Configuration Data) をリセットするためにこの設定を有効にします
	Resources Controlled By (リソースの制御元)	リソースの制御の自動 (Auto (ESCD)) / 手動 (Manual) を選択します BIOSは自動的に起動可能デバイスおよびプラグ アンド プレイ対応デバイスを設定できます。自動を選択すると、BIOSがIRQ DMAおよびメモリーベース アドレスのフィールドを自動的に指定するため、ユーザはこれらを選択できません
	IRQ Resources (IRQリソース)	上記項目で、リソースが手動 (Manual) で制御される場合に、割り込みを行っているデバイスに応じて、各割り込みにタイプを割り当てます PC ATバス規格対応デバイスにはレガシーISA (Legacy ISA)、プラグ アンド プレイ規格対応デバイスには、PCIとISAバス アーキテクチャのどちらで設計されているかに関わらずPCI/ISA PnPを割り当てます 以下について、PCI Device (PCIデバイス) または Reserved (予約) のどちらかが割り当てられます <ul style="list-style-type: none"> • IRQ-3 assigned to (IRQ-3の割り当て) • IRQ-4 assigned to (IRQ-4の割り当て) • IRQ-5 assigned to (IRQ-5の割り当て) • IRQ-7 assigned to (IRQ-7の割り当て) • IRQ-10 assigned to (IRQ-10の割り当て) • IRQ-11 assigned to (IRQ-11の割り当て) • IRQ-14 assigned to (IRQ-14の割り当て) • IRQ-15 assigned to (IRQ-15の割り当て)
	Assign IRQ for VGA (VGAへのIRQ割り当て)	VGAへのIRQ割り当て機能の有効 (Enabled) / 無効 (Disabled) を設定します
	Assign IRQ for USB (USBへのIRQ割り当て)	USBへのIRQ割り当て機能の有効 (Enabled) / 無効 (Disabled) を設定します



コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる機能は、お使いのハードウェアの構成によって異なる場合があります。

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ (続き)

メニュー	項目	説明
PC Health Status (コンピュータの 状態)	CPU Temperature (CPUの温度)	情報を表示します
	System Temperature (システムの温度)	
	CPU FAN Speed (CPUファンの速度)	
	System FAN Speed (システム ファンの速度)	
	System FAN Fail Check (システム ファンの障害チェック)	POST時のシステム ファンの検出の有効 (Enabled) / 無効 (Disabled) を設定します
	FAN Control (ファン制御)	ファンの速度の自動制御の有効 (Auto) / 無効 (Disabled) を設定します
Load Optimized Defaults (最適化された デフォルト設定 をロード)		コンピュータ セットアップの設定内容を工場出荷時の値に戻します
Set Supervisor Password (スーパーバイザ パ スワードを設定)		コンピュータ セットアップへのアクセスを制御するためのパスワードを設定します
Set User Password (ユーザ パスワー ドを設定)		コンピュータへのアクセスを制御するためのパスワードを設定します
Save & Exit Setup (保存してセッ トアップを終了)		現在の設定を保存してコンピュータ セットアップを終了します
Exit Without Saving (保存せずにセッ トアップを終了)		変更を保存せずにコンピュータ セットアップを終了します
	コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる機能は、お使いのハードウェアの構成によって異なる場合があります。	

構成の復元

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティでの設定を復元するには、復元が必要になる前に設定をバックアップしておく必要があります。

CMOS Save/Load ユーティリティのROMPaq を、<http://www.hp.com/jp> の HP Business Desktop dx5150 モデルのサポート & ドライバのページから入手できます。リムーバブル ストレージ デバイス上のフォルダにROMPaq ファイルをダウンロードしてください。コンピュータの構成を変更したら、その構成をディスク、USBメモリ、またはディスクと同等のデバイス（ディスク ドライブをエミュレートするよう設定された記憶装置）に保存し、将来使用できるようにディスクまたはデバイスを保管しておくことをお勧めします。

CMOSのバックアップ

1. バックアップ対象のコンピュータの電源が入っていることを確認して、リムーバブル ストレージ デバイスをコンピュータに接続します。
2. Windows で [スタート] → [ファイル名を指定して実行] の順に選択し、「CMD」と入力して[OK]をクリックします。DOS コマンド ウィンドウが開きます。
3. 「N:¥folder¥BIOS.exe SAVE:ABC001.DAT」（N はリムーバブル ストレージ デバイスのドライブ名）と入力して、CMOS の設定をリムーバブル ストレージ デバイスに保存します。

CMOSのリセット

1. ロード対象のコンピュータの電源が入っていることを確認して、リムーバブル ストレージ デバイスをコンピュータに接続します。
2. Windows で [スタート] → [ファイル名を指定して実行] の順に選択し、「CMD」と入力して[OK]をクリックします。DOS コマンド ウィンドウが開きます。
3. 「N:¥folder¥BIOS.exe LOAD:ABC001.DAT」（N はリムーバブル ストレージ デバイスのドライブ名）と入力して、CMOS の設定を目的のシステムにロードします。